二種混合（破傷風・ジフテリア混合）ワクチン

忘れないで！
13歳前に接種！

対象者

11 歳から 13 歳の誕生日の前日までの者

接種時期
接種回数

標準的には満11歳で1回接種

※三種混合または四種混合予防接種を2回以上接種していれば接種することができます。

※上記に満たない場合は、かかりつけ医とよく相談し接種を受けるようにしてください。

副反応

主な副反応：接種部位の発赤、腫れ、しこり、疼痛などの局所反応、発熱や頭痛
重い副反応：まれに、ショック、アナフィラキシーなど

Q なぜ二種混合ワクチン接種が今、必要なの？

A 生後3か月からの赤ちゃんのころに接種した三種混合もしくは四種混合ワクチンの抗体価は、年齢とともに低下します。そのため、ブースターとして12歳前後に追加接種をすることで感染防御レベルの免疫を維持することができます。

Q 二種混合ワクチンの内容はなんですか？

A 赤ちゃんのころに接種したワクチンは、“ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ”の4種類ですが、今回接種する二種混合ワクチンには、そのうち**ジフテリアと破傷風**の予防をするものです。

ジフテリア

ジフテリア菌の感染によって起こる急性感染症です。症状は高熱、のどの痛み、せき、嘔吐などですが、扁桃に偽膜とよばれる膜ができ、呼吸困難を起こすこともあります。発病2、3週間後には菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻痺を起こす場合があります。日本では感染者数はここ数年0件が続いていますが、アジア地域では時折流行的発生がみられています。

破傷風

破傷風菌は世界中の土壌中に存在するため、常に感染の危険性があります。菌が体の中で増えると、菌の出す毒素のために、筋肉のけいれんを起こします。最初は口が開かなくなるなどの症状で気付かれ、やがて全身のけいれんを起こすようになり、治療が遅れると死に至ることもあります。患者の半数は本人や周りの人では気が付かない程度の軽い刺し傷が原因です。

部活動や通学中のケガや台風後の片付けなど、日常生活にも感染のリスクがあります。二種混合予防接種は医療資源が極端に不足する地震や津波等の災害時への備えにもなります。

予防接種健康被害救済制度について

詳細は診断した医師、沼津市保健センターにご相談ください

入院治療を必要とする程度の健康被害で医療を受けた場合	日常生活が著しく制限される程度の障害がある場合	死亡した場合
医療費・医療手当	障害児養育年金 障害年金・介護加算	死亡一時金・葬祭料

接種にあたっての注意事項

★この説明書をよく読み、理解をしてから接種を受けるようにしましょう。

・子どもの体調をよく知っている保護者が連れて行きましょう。

・保護者が予防接種に付き添えない場合は、委任状が必要です。委任状は市 HP にありますのでダウンロードしてご使用ください。

↑沼津市 HP

・予診票は、医療機関にありますのでその場で記入してください。

・体温は、接種前に医療機関で測ります。

医療機関に行くときの持ち物

①接種券
(無料となります)

②母子健康手帳
(接種記録を記入します)

③マイナ保険証等と子ども医療費受給者証
(診察の結果、接種できなかった時に必要です)

その他

・有効期限を過ぎると費用は全額自己負担となります。予防接種は有効期限内に余裕を持って接種しましょう。

・沼津市指定の医療機関一覧表以外の医療機関で予防接種を希望する場合は、**接種前に別途お手続きが必要**です。保健センターへ問い合わせるか、ホームページをご確認ください。

・重篤な疾患にかかっていたなど長期療養のため、やむを得ず定期接種の対象年齢・期間に予防接種をすることができなかった場合には、お問い合わせください。

日本脳炎予防接種はお済みですか？

小学生の間に対象となる定期予防接種は、**日本脳炎２期**と**二種混合(ジフテリア・破傷風)**の2種類です。

日本脳炎2期は9歳の時に接種券を送付しています。

母子健康手帳で接種履歴を確認しよう！

公費負担の期間　9歳　10歳　11歳　12歳　13歳の誕生日前日まで

ワクチンの種類					
二種混合					1回
日本脳炎	1～3回目済※	4回目（2期）			

※1～3回目がお済みでない人は病院で相談してください（全額自己負担となります）

どちらも公費の最大有効期間は
13歳の誕生日前日まで
余裕をもって
接種の検討をしましょう

【問い合わせ】沼津市保健センター　予防接種係　055−951−3480
(戸田分館　0558−94−3970)